

令和8年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【西原小学校】

学力向上 アクションマップ

①	今年度の目標と学力向上策
重点的に育成する 資質・能力	(1)基礎的な知識・技能の習得と、継続的に学習に取り組む力 (2)自分に合った「学び方」を身に付け、自己の学習を調整することができる資質・能力 (3)文章の要点を捉えて正確に読み取る読解力と、根拠を明確にして説明する力
↓	
実施する学力向上策 【時期・頻度】 (2月)	(1)授業の最初に前時の学習を振り返り、既習事項を生かして本時の課題を設定する。【毎時間】書き込み式のドリルやAドリルを活用するなど、一人ひとりの課題に合わせて反復する時間を確保する。【週に1度】 (2)学習のあてや方法、進め方を自分で選び、自分の学び方について振り返ることができる時間を設定する。【毎時間及び単元末】 (3)読書指導や音読を基盤とし、叙述に基づいて考える発問や要約活動、説明活動を行う。【各単元の中で1回以上】 継続的に読書に取り組ませる。【週に1回】

⑤	年度末評価結果分析(2月)
学力向上策の 実施状況	評価(※) ②詳細分析(学年・教科担当) ③分析共有(児童生徒の実態把握) 職員会議・校内研修等
↓	
今年度の成果と 次年度の課題	さいたま市学習状況調査(学力) <小3～中3>(1月)

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩) 学習状況調査研修会

②	全国学力・学習状況調査結果の分析
特徴的な結果	調査の振り返り(4月) 児童生徒による振り返り ②調査問題の解説
↓	
結果から考えられる 児童生徒の実態	学力向上策の実施 ①学校全体での取組 ②単元テスト・定期テスト 等の分析・活用 ③調査問題を活用した授業

調査結果分析(7～8月)
①結果分析(管理職・学年主任等)

④	さいたま市学習状況調査結果の分析
特徴的な結果	学力向上策の充実 ①学校全体での取組 ②単元テスト・定期テスト 等の分析・活用
↓	
結果から考えられる 児童生徒の実態	③中間評価を経ての取組 ④調査結果を活用した授業

③	中間評価
学力向上策の 実施状況	評価(※)
↓	
学力向上策の 見直し	中間評価(9月) 課題・策の見直し

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)